

認識系モダリティ形式と伝聞の「ソウダ」との 承接に関する記述的研究

周 英

1. はじめに

本稿は、現代日本語の認識系モダリティ形式「ヨウダ」、「ラシイ」、「カモシレナイ」、「ニチガイナイ」と伝聞を表すモダリティ形式「ソウダ」との承接について、記述的な研究を行ったものである。

先行研究では、「ソウダ」は「ラシイ」と「カモシレナイ」には接続することが出来るが、「ヨウダ」と「ニチガイナイ」には接続することが出来ないと記述しているものが多い。しかし、本稿の調査では、例(1)～例(4)に示すように、「ヨウダ」、「ラシイ」、「カモシレナイ」、「ニチガイナイ」のいずれも「ソウダ」と承接関係を持つ例が見つかった。

- (1) 早くも中国で『ハリー・ポッター』の海賊版ビデオ登場。先週末から上映が開始された台湾で、映画館にビデオ・カメラを持ち込み、隠し撮りした映像から作られたもののようだそうです。
(www.stereoz.net/news/200111.htm)
- (2) 事故というのは車との接触だった。大学で徹夜をし、明け方に一人で通りを歩いていて突っ込んできた車にはねられたのだ。相手は居眠り運転らしいそうだが、本人が死亡している今、はっきりとしたところは分からない。
(ha2.seikyoku.ne.jp/home/hachi/himura/grope1.htm)
- (3) 天気予報では3日遅く～4日にかけて崩れ、5日は大荒れかもしれないそうだ。
(www.big.or.jp/~arimochi/kiroku.99.05.04.tutumi.html)
- (4) 久しぶりに村上龍の本を買いました。氏によれば本のタイトル「ダメな女」を見て「自分は違うわ～」と思う女はダメな女に違いないそうです。私は「違うわ～」と思ってしまった。
(www.kjps.net/user/jkonno/diary.html)

このような言語事実のあることから、伝聞の「ソウダ」は「ラシイ」と「カモシレ

周 英

ナイ」のみでなく、「ヨウダ」や「ニチガイナイ」とも承接関係を持つと考えられる。本稿は、その承接の使用実態を明らかにすることを目的としたものである。

2. データの収集

データの収集にあたっては、インターネットのホームページをコーパスとする実態調査と、日本語母語話者を対象とするアンケートによる意識調査を行った。

2.1. インターネット検索による調査

実例のデータは、インターネットのホームページをコーパスとし、それを検索エンジン「Google」(<http://www.google.co.jp/>)で検索することによって収集した。¹ その結果を表 1 に示す。

表 1 認識系モダリティ形式と「ソウダ」の承接

ソウ～	ヒット数	～ソウダ	ヒット数
ソウヨウダ	10	ヨウダソウダ ²	42
ソウラシイ	0	ラシイソウダ ³	494
ソウカモシレナイ	0	カモシレナイソウダ ⁴	1,307
ソウニチガイナイ	0	ニチガイナイソウダ ⁵	12

¹ 検索時期は2002年8月15日～9月15日である。出典の示されていないものは筆者の作例である。検索にあたって次の点に注意した。

- 1 表記 表記は平仮名表記と漢字表記のものを検索した。例えば、「カモシレナイ」、「ニチガイナイ」は、それぞれ、「かもしれない、かも知れない」、「にちがいない、に違いない」の二通りの表記を検索した。
- 2 活用形 検索の対象とした活用形は、以下のとおりである。「ソウカモシレナイ」、「ソウカモシレマセン」、「ソウニチガイナイ」、「ソウニチガイアリマセン」、「ソウヨウダ」、「ソウヨウデス」、「ソウラシイ」、「ソウラシイデス」、「カモシレナイソウダ」、「カモシレナイソウデス」、「ニチガイナイソウダ」、「ニチガイナイソウデス」、「ヨウダソウダ」、「ヨウダソウデス」、「ラシイソウダ」、「ラシイソウデス」
- 3 ヒット数 検索された例に一つ一つ目を通し、検索対象以外の用法で使われたもの、いわゆる「ゴミ」を除き、検索対象の用法であると認められるものだけをヒット数に

2.2. 日本語母語話者に対するアンケート調査

インターネット検索で多数ヒットしたものは、日本語として自然に使われているものであると考えられる。一方、わずかな実例しか出てこなかったものは、正用である可能性もあるが、誤用である可能性も考えられる。そこで、そのような例については、日本語母語話者を対象にアンケート調査を行うことにより、文法性判断を行った。表 においてヒット数が20例以下である「ソウヨウダ」、「ニチガイナイソウダ」に対して、日本語母語話者17人にアンケート調査を行った。(調査対象とした例文は「資料」として論文末に付した)

調査の結果を表 に示す。表 において、A~Qのアルファベットは17人の日本語母語話者、縦の数字は実例番号、右端の「%」は当該の実例に対して正しいと判断した人の割合⁶を表わす。

数えた。

- ² 「~ヨウダソウダ」の検索にあたり、次の()、()のようなものは取り除いた。()の「よう」は比況を表わす「ヨウダ」の一部、()の「よう」は名詞「はまりよう」の一部であり、いずれも本稿の考察の対象ではない。
- ()美しい死体になりたければ凍死。表情などもまるで眠っているようだそうだ。
(piza.2ch.net/log/jinsei/kako/948/948007064.html)
- ()奥さんの話ではヒマな日は半日パソコンの前に座っているほどのはまりようだそうです。
(www23.tok2.com/home/tad1215/negoto2002/10gatu02.htm)
- ³ 「~ラシイソウダ」の検索にあたり、次の()、()のようなものは取り除いた。()の「らしい」は、形容詞「すばらしい」の一部、()の「らしい」は「いかにも~と思われる」という意味の接尾辞であり、いずれも本稿の考察の対象ではない。
- ()この塔の上からのながめはすばらしいそうだが時間がないのであがらなかった。

周 英

表 「ソウヨウダ」「ニチガイナイソウダ」の文法性判断についてのアンケート結果

～ヨウソウダ

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	%
1	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	0
2	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	0
3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		x	6
4	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		x	6
5	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	0
6	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	0
7	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		x	6
8	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	0
9	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		x	6
10	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	0

(www.suzume.com/~licht316/yumi/suddeutsch4.htm)

() 奥さんにスウェーデンでは何が有名か聞いてみると、ガラスの皿やガラスのキャン
ドルホルダーなどがとてもスウェーデンらしいそうだ。

(laser.ele.eng.osaka-u.ac.jp/Event/Sweden95/11.29/1129.htm)

⁴ 「～カモシレナイソウダ」の検索にあたり、次の(), ()のようなものは取り除いた。
()の「そうだ」は指示詞の「ソウ」に断定の「ダ」が付いたものであり、本稿で考察の対象
としている伝聞のモダリティ形式「ソウダ」ではない。()の「そうだ」は、「雨が降りそう
だ」のように様態を表わす「ソウダ」で、本稿で考察対象としている伝聞のモダリティ形式
「ソウダ」ではない。しかも、そもそもこれらは承接関係を持たない。

() 彼女は僕の家へ戻っているかもしれない。そうだ。そうに決まっている。

(www.shinchosha.co.jp/99/text/401op0c.htm)

() また、学習者のモダリティの内訳に関しては、「のだ」、「わけだ」などの説明のモダ
リティ、「かもしれない」、「そうだ」、「ようだ」などの真偽判断のモダリティの使用

～ニチガイナイソウダ⁷

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	%
1a					x			x			x	x		x	x			62
1b		x			x			x	x		x	x	x			x	x	41
2			x		x			x	x				x				x	59
3									x	x					x			76
4			x		x					x					x	x		59
5	x			x	x	x		x			x	x	x	x				47
6	x			x	x			x		x	x		x					56
7																x		91
8								x								x		85
9								x								x	x	76
10	x							x								x	x	71
11	x			x	x			x			x		x	x				53

アンケート調査の結果、先の表の数字は修正する必要があることがわかる。本稿では、アンケートで日本語母語話者の六割以上が正しい文であると判断したもののについて、文法的に正しい表現であると認めることにする。これに従って表を修正すると、表のようになる。

率が日本語母語話者と比べて低くなっています。
(students.washington.edu/koji/JIL/modality.htm)

⁵ 「～ニチガイナイソウダ」の検索にあたり、次の()のようなものは取り除いた。()の「そうだ」は指示詞「ソウ」に断定の「ダ」が付いたものであり、本稿で考察の対象としている伝聞のモダリティ形式「ソウダ」ではない。しかも、そもそもこれは句点で区切れており承接関係を持たない。

() きっと私服警官がいるに違いない。そうだ、そうに決まってる！
(www.t-cnet.or.jp/~carmin/Diary/Diary200202.htm)

⁶ 「」は1人、「」は0.5人、「x」は0人として計算した。

⁷ 一文中に「ベキニチガイナイ」が2箇所使われているため、1を1aと1bに分けた。

表 認識系モダリティ形式と「ソウダ」の承接(修正版)

ソウ～	ヒット数	～ソウダ	ヒット数
ソウヨウダ	(10) 0	ヨウダソウダ	42
ソウラシイ	0	ラシイソウダ	494
ソウカモシレナイ	0	カモシレナイソウダ	1,307
ソウニチガイナイ	0	ニチガイナイソウダ	(12) 6

3 . 先行研究とその問題点

認識系モダリティ形式と伝聞の「ソウダ」との承接について論じている先行研究には、宮崎(1991)、仁田(1991)などがある。次に、これら先行研究における記述を概観しつつ、その問題点を指摘する。

宮崎(1991)は、認識系モダリティ形式「ヨウダ」、「ラシイ」と伝聞の「ソウダ」との承接について、次のように記述している。

伝聞形の特異性として、次のような事実を指摘しておきたい。それは、伝聞形が話し手以外の判断を表す疑似モダリティ形式⁸に接続するということである。

(77) 聞くところによると、会長には太郎が選ばれるらしいそうだ。
これは第三者の情報を話し手が取り次いで報道することから、当然起こってくる現象である。ただし、次のように、「～ソウダ」には取り次げない情報もある。

(78) *彼の話では、彼は同窓会には来れないようだそうだ。

(宮崎1991 : 50 51)

⁸ 宮崎(1991)は、「疑似モダリティ」について、次のように記述している。
疑似モダリティ 「発話時における」「話し手の」といった要件から外れたところを有している心的態度の表現(仁田(1989)) であると考えられる。

宮崎(1991 : 45)

一方、「カモシレナイ」、「ニチガイナイ」と「ソウダ」との承接について、仁田(1991)は次のような記述をしている。

「～するかもしれないそうだと」に比べて、「～するにちがいないそうだと」は容認度がかなり落ちるものと思われる。「～にちがいない」は、「～かもしれない」に比べて第三者の心的態度の表現になることは難しい。

(仁田1991 : 61)

(5) 彼によれば、明日の海は大荒れになるかもしれないそうだと。

(仁田(1991)の例文(94))

(6) * 彼によれば、明日の海は大荒れになるにちがいないそうだと。

宮崎(1991)と仁田(1991)の記述から、伝聞を表わす「ソウダ」は、認識系モダリティ形式「ラシイ」や「カモシレナイ」に接続することはできるが、同じく認識系モダリティ形式に属する「ヨウダ」や「ニチガイナイ」には接続することができないということが窺われる。これについて、2.2の表を見ると、「～カモシレナイソウダ」が1,307例であるのに対し、「～ニチガイナイソウダ」は12例しかないことがわかる。ヒット数だけを比較すると確かに仁田(1991)の指摘するように、「～カモシレナイソウダ」に比べて、「～ニチガイナイソウダ」は容認度がかなり落ちると思われる。しかし、「～ニチガイナイソウダ」の12の実例に対し、日本語母語話者によるアンケート調査を行ったところ、12例のうちの6例について、60%以上の母語話者が正しい日本語であると判断している。したがって、必ずしも、「～ニチガイナイソウダ」が日本語として不適切であるとは言い切れないという結果が出た。本稿では、「～ニチガイナイソウダ」は実例は少ないが、正しい日本語の表現であると考えられる。

また、宮崎(1991)は「～ヨウダソウダ」を非文としたが、本稿の調査では42例出現した。この点についても再検討する必要があると思われる。

4 . 認識系モダリティ形式と「ソウダ」との承接

寺村(1984)は、「伝聞」について、「ある事態について、自分は直接知らないが、

周 英

他からこう伝え聞いたということを相手に伝える言い方である(p.256)」と述べている。伝聞を表わす「～ソウダ」は、「～」の部分には話者が聞いた発話内容を埋め込んで使われる。しかし、「～」の部分には発話内容のすべてが埋め込まれるわけではない。例えば、天気予報で「明日は雨が降るでしょう。」と聞いて、それを相手に伝える場合、次の例(7a)のような形を取り、例(7b)のような言い方はしない。どのようなものが「ソウダ」の対象として「～ソウダ」の「～」の部分に入るのかについて考える必要がある。

- (7) a. 明日は雨が降るそうだ。
b. *明日は雨が降るでしょうそうだ。

ここでは、2.2の表 と照合させながら考察していきたい。

4.1. 認識系モダリティ形式が「ソウダ」の後ろに付く場合

認識系モダリティ形式「ヨウダ」、「ラシイ」、「カモシレナイ」、「ニチガイナイ」は、伝聞のモダリティ形式「ソウダ」の後ろには付かない。その理由について、本稿では次のように考える。

寺村(1984)の定義にもあるとおり、「ソウダ」は「ある事態について、自分は直接知らないが、他からこう伝え聞いたということを相手に伝える言いかた(p.256)」である。「～ソウダ」の「～」の部分の内容は、話者自身による情報ではなく、第三者からの情報であることを聞き手に表明するものである。そして、話者のその表明は、まさに話者が「～ソウダ。」と言葉を発した時点で成立するため、「ソウダ」は「～ダ」という断定形式しかありえず、自分の観察した印象を述べる「ヨウダ」、事実はこちらであると推定する「ラシイ」、事態の成立可能性を述べる「カモシレナイ」、事態の成立に確信を表わす「ニチガイナイ」といった話者の心的態度を表わすものとは相容れない。そのため、「ヨウダ」、「ラシイ」、「カモシレナイ」、「ニチガイナイ」は、伝聞の「ソウダ」の後ろに付かないと考える。

こうした「ソウダ」の特性は、否定や過去や疑問の形にならないという文法的特性ともつながるものと考えられる。

- (8) a. *雨が降るそうではない。

- b. *雨が降るそうだった。
- c. *雨が降るそうですか。

4.2. 認識系モダリティ形式が「ソウダ」の前にくる場合

インターネット検索の結果を見ると、「ソウダ」は、「ラシイ」や「カモシレナイ」に後続できるのみでなく、先行研究の指摘に反し、「ヨウダ」や「ニチガイナイ」にも後続できることがわかる。本稿では、「ヨウダ」と「ニチガイナイ」は、それぞれ、伝聞の「ソウダ」の対象として適切な場合と不適切な場合があるということを主張する。

4.2.1. 「～ヨウダソウダ」

「～ヨウダソウダ」の承接について、先行研究では不適切な表現であるとされている。このような先行研究の主張が言語の使用実態と一致しているかどうかを見るため、本稿では、「～ヨウダソウダ」についてインターネット検索を行った。その結果、42件出現した。しかし、この42件は誤用の可能性もあると考え、50人の日本語母語話者にアンケート調査を行った。⁹ その結果、誤用と思われるものと正用と思われるものがあることがわかった。このうち、正しい日本語であると判断された上位3例は、次のとおりである。(例文の後ろの「%」は、正しいと判断した人数の割合を示している)

- (9) かなり前になるのですが、友人から某番組でスカイフィッシュとかいう生物を調査した放送があったと聞きました。その生物は高速で移動するため、撮影してスローで確認しても姿をはっきりとらえることが出来ないとのことでした。ビデオに映った映像では細長い形のようだそうです。調査お願いします。(86%)

(www.ntv.co.jp/FERC/request/0103/req0648.html)

- (10) 早くも中国で『ハリー・ポッター』の海賊版ビデオ登場。先週末から上映が開始された台湾で、映画館にビデオ・カメラを持ち込み、隠し撮り

⁹ 2002年12月9日に、名古屋大学理学部・工学部一年生50名を対象に行った。

周 英

した映像から作られたものようだそうです。(77%)

(www.stereoz.net/news/200111.htm)

- (11) 面接内容は、特に変わったことは行わず、語学力、第一印象、接客業に適しているか、積極的であるか、几帳面であるかなどを確認していたようだそうです。(72%) (www.crew-jp.com/q9.htm)

一方、誤用と判断された上位3例は次のとおりである。

- (12) 更年期障害について教えてください。母親が更年期障害で感覚がなくなる(知覚鈍化?)で悩んでいます。頭がぼーっとして、歩いててもふわふわして関節のすべての感覚がなくなるようだそうです。(24%)

(www.nagara.com/guestbook/guestbook.html)

- (13) Aさんは、自分の足元だけは見えるのだそうです。見えるといってもはっきりではなく、雲の中を歩いているような感じだとか。しかも景色がぐにゃぐにゃに見えて、歩いていて気分が悪くなってくるようだそうです。

(22%) (www.bremen.or.jp/bewell/b/b3.html)

- (14) 梅干の種の中身は食べないほうがいいようだそうです。(20%)

(www.oct.zaq.ne.jp/afaya305/hp/diary/20018.html)

これらの実例を分析すると、「～ヨウダ」と表現されたものが、ある個人の視覚や聴覚による観察、あるいは、思考を経て得られた判断であれば、伝聞の「ソウダ」の対象となるが、ある個人にしかわからないその人の身体感覚、直感などによる判断である場合には、伝聞の「ソウダ」の対象とならないと考えられる。上記の例で考えると、例(9)、例(10)のように視覚を通して得られた情報をもとに表現する場合や、例(11)のように視覚からさらに思考を経て表現する場合は、「～ヨウダソウダ」という承接が成立する。一方、例(12)、例(13)のように身体感覚を表現する場合や、例(14)のように直感を表現する場合は、「～ヨウダソウダ」という承接が成立しない。

例(12)～例(14)の場合、話者が、ある個人が実際に口に出して、「頭がぼーっとして、歩いててもふわふわして関節のすべての感覚がなくなるようだ」、「歩いていて気分が悪くなってくるようだ」、「梅干の種の中身は食べないほうがいいようだ」と言ったのを聞いたと考えられる。しかし、そのことを相手に伝える時は、

例(12')～例(14')のように「ようだ」の部分を省略するか、あるいは、例(12'')～例(14'')のように「～と言っている」を使って伝えるのが普通である。

- (12') 更年期障害について教えてください。母親が更年期障害で感覚がなくなる(知覚鈍化?)で悩んでいます。頭がぼーっとして、歩いててもふわふわして関節のすべての感覚がなくなるそうです。
- (13') Aさんは、自分の足元だけは見えるのだそうです。見えるといってもはっきりではなく、雲の中を歩いているような感じだとか。しかも景色がぐにゃぐにゃに見えて、歩いていて気分が悪くなるそうです。
- (14') 梅干の種の中身は食べないほうがいいそうです。
- (12'') 更年期障害について教えてください。母親が更年期障害で感覚がなくなる(知覚鈍化?)で悩んでいます。頭がぼーっとして、歩いててもふわふわして関節のすべての感覚がなくなるようだと言っています。
- (13'') Aさんは、自分の足元だけは見えるのだそうです。見えるといってもはっきりではなく、雲の中を歩いているような感じだとか。しかも景色がぐにゃぐにゃに見えて、歩いていて気分が悪くなるようだと言っています。
- (14'') 太郎は梅干の種の中身は食べないほうがいいようだと言っています。

つまり、「～ヨウダ」が、ある個人が視覚や聴覚による観察、あるいは、思考を経て得られた判断である場合には、伝聞の「ソウダ」の対象として適切であるが、ある個人にしかわからないその人の身体感覚、直感などによる判断である場合には、「ソウダ」の対象として不適切であると考えられる。今後その理由を考え、意味の世界に入っていきたい。

4.2.2. 「～ラシイソウダ」

「～ラシイソウダ」について、インターネット検索をした結果、494例現れた。これは「～ラシイソウダ」が文法的であることを意味すると考えられる。つまり、「～ラシイ」と表現されたものは、「～ソウダ」の「～」の部分の内容として適切であると言える。次に具体例を見ていく。

周 英

- (15) 事故というのは車との接触だった。大学で徹夜をし、明け方に一人で通りを歩いていて突っ込んできた車にはねられたのだ。相手は居眠り運転らしいそうだが、本人が死亡している今、はっきりとしたところは分からない。
(ha2.seikyoku.ne.jp/home/hachi/himura/grope1.htm)
- (16) 社長が不動産業者と打ち合わせをした結果、職場が今の恵比寿から五反田に引っ越すことにほぼ内定。何でも家賃が安いらしいそうだが、通勤ルートが新宿側からの人が多いため、交通にかかる時間が増加する社員が大多数を占める。
(www5.airnet.ne.jp/ssuzuki/kinkyu/kin9911.htm)

上の例(15)において、事故を起こした運転手本人が死亡していることから、「居眠り運転らしい」というのは、運転手から聞いた話ではありえず、警察の判断だと考えられる。したがって、この「ラシイ」は推量判断を表わす「ラシイ」であり、話者が警察の判断を聞き手に伝えた表現であることがわかる。一方、例(16)は、「社長が不動産業者と打ち合わせをした」という文脈から、「家賃が安いらしい」というのは、社長が不動産業者から聞いた話であると考えられる。したがって、この「ラシイ」は伝聞を表わす「ラシイ」であり、話者が社長の聞いてきた話を聞き手に伝えた表現であることがわかる。

「ラシイ」は、推量判断を表わす場合には観察できる事柄を根拠に、伝聞を表わす場合には外部からの伝聞情報を根拠に、事実が存在していると判断したことを表わす。いずれの場合も、話者の思考を経て得られたものであり、伝聞のモダリティ形式「ソウダ」の対象として適切であるため、「～ラシイソウダ」は文法的であると考えられる。これも、今後伝聞と推量判断の関係を意味的に考えるいい例となっている。

4.2.3. 「～カモシレナイソウダ」

先行研究で、「ソウダ」は「カモシレナイ」に後接できることが指摘されている。このことは、インターネット検索から1,307件もの実例が現れたことからわかる。つまり、「カモシレナイ」は、「～ソウダ」の「～」の部分の内容として適切であると考えられる。次の例を見よう。

- (17) 天気予報では3日遅く～4日にかけて崩れ、5日は大荒れかもしれないそ

- うだ。 (www.big.or.jp/~arimochi/kiroku.99.05.04.tutumi.html)
- (18) 友人の勤めているアパートの会社は沖縄にも進出を始めた。もしかしたら、近いうちに沖縄に転勤になるかもしれないそうだ。
(www.tedako.net/akitoshi/korea/korea2.html)
- (19) カミさんの会社がリストラの嵐で、本日その面接を受けてきたそうだ。どうやら残れるそうだ。しかし、給与5%カットで仕事は従来の2人分になるかもしれないそうだ。
(nasubon.tripod.co.jp/diary/2002diary/20020104.html)

例(17)は、「5日は大荒れかもしれない」という天気予報からの情報を聞き手に伝えたことを表わしている。例(18)は、「沖縄に転勤になるかもしれない」という友人からの話を聞き手に伝えたことを表わしている。例(19)は、「給与5%カットで仕事は従来の2人分になるかもしれない」というカミさんからの情報を聞き手に伝えたことを表わしている。例(17)～例(19)において、「～カモシレナイ」と表現されたものは、ある個人の発話時での直感、感覚などによるものではなく、発話時にある程度思考を経て得られたものであり、伝聞のモダリティ形式「ソウダ」の対象として適切であるため、「～カモシレナイソウダ」は文法的であると考えられる。

4.2.4. 「～ニチガイナイソウダ」

インターネットで「～ニチガイナイソウダ」の承接について検索したところ、わずか12例しか出てこなかった。この点について、本稿では、「ニチガイナイ」は対話文には使われないことに原因があると考えられる。

寺村(1984)に指摘があるように、「ニチガイナイの特徴は、自分の思案、推量を自分に確かめるような独白的な使い方がふつうであるところにある。誰かの問に答える文では使われない(p.235)」。

- (20) 課長八今日コラレマスカ？
* ハイ、来るニチガイアリマセン。
* ハイ、来ないニチガイアリマセン。

(寺村(1984)の例文(32))

たしかに、演劇やドラマでは対話文で「ニチガイナイ」が使われることがあるが、一般の会話では不自然な感じがする。これについて、三宅(1993)、森山(1995)、木下(1997)は、「ニチガイナイ」が対話文に使えないのは発言に責任を要する場面においてであると主張している。寺村(1984)の例(32)について、木下(1997)は、例(21)のように、「秘書が課長の予定について述べる場合」という状況を設定して、「ニチガイナイ」は発言に責任を持つことを求められるような状況では使えないとし、判断に責任を持つことを求められる秘書などの立場にある人は「課長は来るにちがいありません」とは言えないが、そうでなければ言えると論じている。

- (21) 秘書が課長の予定について述べる場合
課長はコレマスカ？

- # ハイ、来るニチガイアリマセン。

(木下(1997)の例文(54))

これに対して、本稿では、「ニチガイナイ」は判断に責任を持つ場合でなくても対話文には使いにくいと考え、寺村(1984)の指摘を支持する立場をとる。事実、インターネット検索でも「～ニチガイナイソウダ」の承接はわずか12例しか出現しなかった。このことについて、本稿では次のように考える。

「～ソウダ」の「～」の部分の内容、つまり話者の情報は、第三者から伝え聞くことによって入手されるものである。そのため、独白的な使い方が普通である「ニチガイナイ」を使った表現は、第三者が自分の思案・推量を自分に確かめるものであり、たとえ言葉に発したとしても、他者に伝えるという機能は持っていない。したがって、独白的な使い方が特徴である「ニチガイナイ」は、入手した情報を聞き手に取り次ぐ伝聞の「ソウダ」にはなじまない表現であると考えられる。

しかし、実例数が少ないからといって、必ずしも正しい日本語の表現でないとは言いきれない。そこで、これらの12例について、日本語母語話者に対してアンケート調査を行った。その結果は、次の表のとおりである。表において、一行目の数字は、例文番号を指す。二行目の「%」は、それぞれの例文に対して、正しいと判断した人数の割合を示したものである。

表 「～ニチガイナイソウダ」のアンケート調査結果

例	1a	1b	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
%	62	41	59	76	59	47	56	91	85	76	71	53

表を見ると、「～ニチガイナイソウダ」は正しい日本語の表現であると判断される割合の高いことがわかる。まず正しいと判断した人数の割合が41%、47%と、最も低い例1b、例5について見てみたい。それぞれ、次の例(22)、例(23)にあたる。

- (22) 弟曰く、そのとき犬は、きっと、前足をブルブル震わせながら「今ここで幸せそうに熟睡しているこの飼い主の顔の上に、この前足をピタン！と乗せてみたい...。」という誘惑と忠犬としての良心とが戦っていたに違いないそうだ。(41%) (www.asahi-net.or.jp/~id9y-ind/akazu.html)
- (23) 長老曰く「世界樹に異変が起きたに違いない」そうだ。村のすぐ側にある世界樹に行ってみる。んー、普通のように見えるけど。っと、精霊っぽいのが倒れている。(47%) (homepage1.nifty.com/tama_q/dq7b.html)

例(22)は、話者が、弟の「誘惑と忠犬としての良心とが戦っていたにちがいない」という確信的な判断を情報として、聞き手に伝えたことを表わしている。弟は犬の心境について知るよしもないため、「～ニチガイナイ」と表現されたものは、弟自身の感覚による確信的判断であると考えられる。例(23)は、話者が、長老の「世界樹に異変が起きたにちがいない」という確信的判断を情報として、聞き手に伝えたことを表わしている。「～ニチガイナイ」と表現されたものは、長老自身の靈感による確信的判断であり、確かな根拠はないと思われる。

例(22)と例(23)において、「～ニチガイナイ」と表現されたものは、いずれもある個人にしかわからない感覚である。4.2.1の「～ヨウダソウダ」で述べたように、本稿では、ある個人にしかわからないその人の感覚、直感などによる判断は、伝聞の「ソウダ」の対象として不適切であると考え。したがって、例(22)と例(23)の「～ニチガイナイソウダ」は成立しないと考える。

次に、「～ニチガイナイソウダ」の12例のうち、正しいと判断した人数の割合が91%、85%と極めて高い例7、例8について見てみたい。それぞれ、次の例(24)、

周 英

例(25)にあたる。

- (24) 天童市の西部・蔵増地区で発掘されている「板橋2遺跡」で現地説明会が開催されました。「板橋2遺跡」では、山形県内で最も古い曲物の一部や田下駄(げたの一種)が出土されました。古墳時代中期の紀元後5世紀ごろの遺物とされています。曲物は具体的に何に使われていたのか分からないそうですが、食生活の中で使われていた器に違いないそうです。(91%) (www.ikechang.com/news/1998/9811j3.htm)
- (25) 久しぶりに村上龍の本を買いました。氏によれば本のタイトル「ダメな女」を見て「自分は違うわ～」と思う女はダメな女に違いないそうです。私は「違うわ～」と思ってしまった。(85%) (www.kjps.net/user/jkonno/diary.html)

例(24)は、話者が遺跡の現地説明会で、「曲物は～食生活の中で使われていた器に違いない」という話を聞いて、それを相手に伝えるために「～ニチガイナイソウダ」という形式を取っている。例(25)は、話者が村上龍の本の中に、「～と思う女はダメな女に違いない」と書いてあるのを読んで、その記述を相手に伝えるために「～ニチガイナイソウダ」という形式を取っている。例(24)の「ニチガイナイ」は遺跡の現地説明会という公式の場での発話として使われ、例(25)の「ニチガイナイ」は本の中の記述として使われ、このような「ニチガイナイ」はいずれも他人の意見・主張・結論を表わしているもので、他者に伝えるという機能を持っている。

本稿では、「ニチガイナイ」を使った表現は、基本的には独白的に使われ、他者に伝えるという表現機能を持っていないため、入手した情報を聞き手に取り次ぐ伝聞の「ソウダ」にはなじまない表現であると考えられる。しかし、表\$のデータをみると、インターネット検索で得られた「～ニチガイナイソウダ」の12例の中には日本語母語話者の容認度が高いものもある。これらの例を見ると、実例としては少ないが、「～ニチガイナイ」が他人の意見・主張・結論であれば、「～ニチガイナイソウダ」という言い方は、正しい日本語の表現であると考えられる。

5. おわりに

本稿では、認識系モダリティ形式「ヨウダ」、「ラシイ」、「カモシレナイ」、「ニチガイナイ」と伝聞のモダリティ形式「ソウダ」との承接について考察した。その結果、「～ラシイソウダ」と「カモシレナイソウダ」が文法的であることを検証し、「ラシイ」と「カモシレナイ」は「ソウダ」の伝聞の対象として適切であることを確認した。また、「～ヨウダソウダ」と「～ニチガイナイソウダ」が文法的である場合とそうでない場合とがあることから、「ヨウダ」と「ニチガイナイ」は「ソウダ」の伝聞の対象として適切な場合と不適切な場合とがあることが明らかになった。すなわち、「～ヨウダ」と表現されたものがある個人が視覚や聴覚による観察、あるいは、思考を経て得られた判断である場合、「～ニチガイナイ」と表現されたものが、他人の意見・主張・結論である場合は、「ソウダ」の対象として適切で、「～ヨウダ」、「～ニチガイナイ」と表現されたものがある個人にしかわからないその人の感覚、直感などによる判断である場合は、「ソウダ」の対象として不適切である。こうした考察に基づいて、本稿では、「ヨウダ」と「ニチガイナイ」は、伝聞のモダリティ形式「ソウダ」の前に来ることができることを主張する。

先行研究では、「ソウダ」は第三者からの情報をそのまま聞き手に伝える表現であるとされてきた。しかし、本稿の調査により、認識系モダリティ形式「ヨウダ」、「ニチガイナイ」は「ソウダ」の伝聞の対象として不適切である場合のあることがわかった。つまり、実際に「～ヨウダ」、「～ソウダ」という第三者からの発話を聞いてもそれをそのまま情報として聞き手に伝えられない場合がある。「ヨウダ」、「ニチガイナイ」以外に、同じく認識系モダリティ形式「ダロウ」、表現類型のモダリティ形式「～テクダサイ」、伝達態度のモダリティ形式「ネ」、「ヨ」なども「ソウダ」の伝聞の対象として不適切である。

- (26) * 明日雨が降るだろうそうだ。
- (27) * どうぞ使ってくださいそうです。
- (28) * 今日はいいお天気ですねそうです。

どのような形式が伝聞の「ソウダ」の前に来るのかについてさらに検討する必要があると考えられる。この点については今後分析していきたい。

周 英

参考文献

- 木下りか(1997)「カモシレナイ・ニチガイナイ 真偽判断のモダリティの体系における「可能性」」『ことばの科学』10, pp.41-56. 名古屋大学言語文化部言語文化研究会
- グループ・ジャマシイ(1998)『日本語文型辞典』. くろしお出版
- 周 英(2003)『現代日本語における認識系モダリティ形式の承接に関する研究 「ヨウダ」「ラシイ」「カモシレナイ」「ニチガイナイ」を中心に』. 名古屋大学大学院国際言語文化研究科修士学位論文
- 杉村 泰(1999)「事態の蓋然性と判断の蓋然性」『ことばの科学』12, pp.171—187. 名古屋大学言語文化部言語文化研究会
- (2001)「現代日本語における文末表現の主観性 ヨウダ、ソウダ、ベキダ、ツモリダ、カモシレナイ、ニチガイナイを対象に」『世界の日本語教育』11, pp.209-224. 国際交流基金日本語国際センター
- 寺村秀夫(1984)『日本語のシンタクスと意味』. くろしお出版
- 仁田義雄(1989)『日本語のモダリティと人称』. ひつじ書房
- 益岡隆志(1991)『モダリティの文法』. くろしお出版
- 三宅知宏(1993)「認識的モダリティにおける確信的判断について」『語文』61, pp.36-46. 大阪大学国語国文学会
- 宮崎和人(1991)「判断のモダリティをめぐって」『新居浜工業高等専門学校紀要人文科学編』27, pp.35-53. 新居浜工業高等専門学校
- 森山卓郎(1989)「認識のムードとその周辺」仁田義雄・益岡隆志編『日本語のモダリティ』. pp.57-120. くろしお出版
- (1995)「ト思う、ハズダ、ニチガイナイ、ダロウ、副詞～」宮島達夫・仁田義雄編『日本語類義表現の文法』(上)単文編, pp.171-182, くろしお出版

資料(日本語母語話者に対するアンケート調査に使用した例文)

~ソウヨウダ:

- 1 同窓会の宴会場確保のために元ホテル勤務のO係長にH次長から電話がある。
「1人1万円くらいで・・・」「給仕の女性をつけるとなると・・・」など耳慣れない宴会用語が飛び出す。聞くと1000万円オーバースの集まりだと言う。H次長と言えば先月次長に昇進したばかり。それで1000万円とは。ますますもって給料泥棒状態のH社。係長2年目で590万円のメッサくんが次長になると1000万円になるとは考えにくいけど事実そうようだ。恐るべしボッタクリ状態。
(isweb2.infoseek.co.jp/~messa/saikin00aki.htm)
- 2 私の名はメーテル・・・他の板で流行っているそうようだが、この板では無理なんじゃないかと思っている女・・・
(natto.2ch.net/car/kako/997/997012559.html)
- 3 ゲーム業界の動き(2000年6月版):コナミが、NGCに遊戯王を発売するそうようです。
(www.fammys.com/jouhou/news200206.htm)
- 4 これは第4ゲレンデで撮影した写真です。左はあんどちゃん、(ボーダーでスキーはしばらくぶりだったそうようです。ご苦労様でした。)、右で振り向いているのは、デモパンのまきまきさんです。
(www.valley.ne.jp/~t-take/ofumi.htm)
- 5 湯舟は赤茶色の湯があふれていて、透明度は20センチくらいでしょうか?底が見えないので足でさぐりながら入ります。わりと浅いのかなと思ったら、中は階段状になっていて股上ぐらいまでの深さがありました。源泉の温度が37度と低いので冬場は加熱するそうようですが、普段はそのままで利用しています。
(www.ringwander.ne.jp/~tetsusei/op04/c20.html)
- 6 名車スカイライン10代目R34(通称さんよん):この車、車重が1410kgと重いのですが、パワーウェイトレシオでみると5.03kg/psとなり、前のGT-Rより良い数値を出しています。[R33(5.52kg/ps)・R32(5.28kg/ps)]そのパワーゆえに、ボディの補強には手を尽くしたそうようです。それぐらいR34のスカイラインの走行性能は高いようです。
(www.geocities.co.jp/MotorCity-Race/1623/sky.html)
- 7 戦前は地元の人が井戸を掘って、宮水を家庭用に引くこともできたそうよう

周 英

ですが、現在は御当地の組合がしっかりと権利を握っており、宮水の醸造目的以外の使用は厳しく規制されています。

(www.f-jhs.fukuoka-edu.ac.jp/tt/h7/hirame.html)

- 8 神戸市バスの路線再編について、昨日つけて広報こうべ臨時号が出ていました。これによると、24系統の路線変更は鞆台南の仮設住宅に回っていた臨時系統をなくすということで、すでに11月に実施済みかと思われます。その他まだ書ききれないのですが、路線変更の8系統、5系統では、従来の系統も残るそうようですし、新81系統は新長田駅～西代～地下鉄長田駅～大橋の区間で循環になるようです。

(www.ca.sakura.ne.jp/~kamo/bus/log/log1601-1650.html)

- 9 DIVE記録文の冠名を形骸化させて久しいですが、まもなく本当にDIVEが不可能になってしまうそうようですね。

(members.tripod.co.jp/sphp/6.html)

- 10 ところで Lis さんはパードメイジを目指しているそうようですが、魔法スキルの上げ方がよく分からないそうです。

(isweb35.infoseek.co.jp/play/takiyan2/uo_diary/uo_diary0202b.htm)

～ニチガイナイソウダ：

- 1 うちの犬には変な癖がある。母の話によると、夜中、家の住人がちゃんと家の中で寝ているかどうか毎晩各部屋を点検するらしい。しかし、弟曰く、それは点検ではなく、飼い主に日ごろの恨みを晴らそうかどうか犬が葛藤して悩んでいた場面にちがいないそうだ。そのとき犬は、きっと、前足をブルブル震わせながら「今ここで幸せそうに熟睡しているこの飼い主の顔の上に、この前足をピタン！と乗せてみたい...。」という誘惑と忠犬としての良心とが戦っていたに違いないそうだ。

(www.asahi-net.or.jp/~id9y-ind/akazu.html - 5k)

- 2 また、中村の友人が言っていたのだが、大藪春彦は殺し屋が銃を撃つシーンのディテイルを書くために小説を書いているにちがいないそうだ。

(mira.bio.fpu.ac.jp/~tadas/dye_boots/0110/infomation.html - 11k)

- 3 「スコット、あれの翻訳権を押さえてこい。ブレインズの分析によれば、大森望が引き受けるにちがいないそうだ。

(www.ltokyo.com/ohmori/dengon1900.html - 101k)

- 4 その時の魚は仁が言うには60cmオーバーに違いないそうだ。まあ20ポンドのラインを軽々とぶっ千切っていく魚。60アップかどうかはともかく、それなりに大きかったのは間違いあるまい。

(www.paon.ne.jp/21bass/mapbrake210209.htm - 4k)

- 5 長老曰く「世界樹に異変が起ったに違いない」そうだ。村のすぐ側にある世界樹に行ってみる。んー、普通のように見えるけど。っと、精霊っぽいのが倒れている。

(homepage1.nifty.com/tama_q/dq7b.html - 16k)

- 6 帰り道、「麗子と吉田君、何かいいね。」と明子が言ってくれる。何がいいんだろう、ただ私はそっけなくあしらわれているだけだというのに。でも明子に言わせると、それは吉田君なりの愛情表現に違いないそうだ。

(www.hc.keio.ac.jp/~fb991586/diary-4-2.html - 20k)

- 7 天童市の西部・蔵増地区で発掘されている「板橋2遺跡」で現地説明会が開催されました。「板橋2遺跡」では、山形県内で最も古い曲物の一部や田下駄(げたの一種)が出土されました。古墳時代中期の紀元後5世紀ごろの遺物とされています。曲物は具体的に何に使われていたのか分からないそうですが、食生活の中で使われていた器に違いないそうです。

(www.ikechang.com/news/1998/9811j3.htm - 12k)

- 8 久しぶりに村上龍の本を買いました。氏によれば本のタイトル「ダメな女」を見て「自分は違うわ～」と思う女はダメな女に違いないそうです。私は「違うわ～」と思ってしまった。

(www.kjps.net/user/jkonno/diary.html - 4k)

- 9 日本大勝利！おめでとうございます！！れんさん説によると、今日は、道頓堀に、サポーターのダイビングのみならず、大阪のかにや、えび(お店の看板になってるやつ)が浮くに違いないそうです。次のトルコ戦も、楽しみです！がんばれ日本！

(bbs1.mfc-park.com/cgi-bin/bbs/ibbsv2.cgi?mfcbbbs=caravel&page=7 - 84k)

- 10 今回発見された動物には、鰓や心臓、脳を伴う背側の神経索や、対になった目らしきものなどの証拠があるそうです。これらの特徴からすると、この動物はたとえ脊椎動物でないとしても、それに非常に近いものだということになり、脊椎動物と認められる形態への進化が、カンブリア紀初期より前に起こったことは疑いの余地がほとんどなく、脊椎動物系統の真の起源は間に隠

れたはるか太古の時代にあるに違いないそうです。

(www.netlaputa.ne.jp/~pantheon/backyard/backyardscience.html - 87k)

- 11 主人を迎えに新横浜に行ってきました。出張は社長さんと一緒に社長の車で行ったのですが、主人は、もう1泊しました。社長さんは、用事があるらしく、仕事を終えてから、夜中休み休み車を運転して帰ったそうです。主人が言うには、社長さんは のコンサートに行くに違いないそうです。

(www12.u-page.so-net.ne.jp/ba3/masae/2001new11.html - 22k)